

1. 尺骨神経麻痺について正しいのはどれか。

- (1) 男性に多い。
- (2) 神経圧迫部位は肘部管である。
- (3) 外部からの物理的圧迫では生じにくい。
- (4) 神経移行術による治療は適応外である。
- (5) 最も発生頻度が高い末梢神経障害である。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：b

2. ヘモグロビン酸素解離曲線が右方移動するのはどれか。

- (1) pH 低下
- (2) 温度上昇
- (3) 出血傾向
- (4) 低酸素血症
- (5) 2,3-DPG 上昇

2,3-DPG：赤血球内 2,3-ジホスホグルセリン酸

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：b

3. 正しいのはどれか。

- (1) 脳血流には自動調節能がある。
- (2) 血流量がもっとも多い臓器は肝臓である。
- (3) 酸素消費量がもっとも多い臓器は心臓である。
- (4) バルビタール系薬剤は脳蘇生時に有効である。
- (5) 蘇生時の軽度低体温療法は神経学的予後に影響する。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：b

4. 正しいのはどれか。
- a ケタミンは脳血流量を減少させる。
 - b セボフルランは脳血管拡張作用がある。
 - c チオペンタールは脳血管拡張作用がある。
 - d プロポフォールは脳血管拡張作用がある。
 - e 吸入麻酔薬は脳血流の自動調節能に影響しない。

正解：b

5. 子宮収縮作用がある薬物はどれか。
- a リトドリン
 - b セボフルラン
 - c ジクロフェナク
 - d ロキソプロフェン
 - e マレイン酸メチルエルゴメトリン

正解：e

6. 輸液管理について正しいのはどれか。
- (1) 動脈圧波形は輸液管理の指標となる。
 - (2) 周術期の輸液は、主に細胞外液補充液を用いる。
 - (3) 周術期輸液の目的は、循環血液量を維持することである。
 - (4) 「4—2—1 ルール」は、出血へ対応する輸液量の目安となる。
 - (5) 体重 70 kg の成人の場合、循環血液量の概算値は 3,500 ml である。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：a

7. 不適合輸血について正しいのはどれか。

- (1) 医療従事者のヒューマン・エラーに由来する。
- (2) 希釈式自己血輸血法は、不適合輸血予防になる。
- (3) 他院で血液型検査がされていれば、自院での検査は不要である。
- (4) 正しい血液型が診療録に記載があれば、不適合輸血は生じない。
- (5) 採血を患者の眼前で行えば、患者の眼前でのラベリングは不要である。

a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)

d (3), (4) e (4), (5)

正解 : a

8. 深部静脈血栓症の予防について正しいのはどれか。

- (1) 閉塞性動脈硬化症には弾性ストッキングは禁忌である。
- (2) 弾性ストッキングは、静的圧迫力によって表在静脈を圧排する。
- (3) 深部静脈血栓症のある症例に、間欠的空気圧迫装置は推奨される。
- (4) 弾性ストッキングは、足先から大腿部へ圧迫力が段階的に増加する。
- (5) 下肢を圧迫できない患者に対して、足底部を圧迫する装置は使用できる。

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)

d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : b

9. 気管チューブの抜管前後の注意点および対処として正しいのはどれか。

- a 深麻酔での抜管は禁忌である。
- b 咽頭パッキングは、抜管後に除去する。
- c 抜管後、胸郭が動いていれば、舌根沈下はない。
- d 枕を使用することは、舌根沈下対策に有効である。
- e 意図的に刺激を与えず、自発呼吸の観察は重要である。

正解 : e

10. 薬の効果について正しい組み合わせはどれか。

- (1) ニカルジピン……………徐脈
- (2) ランジオロール……………頻脈
- (3) エフェドリン……………血圧低下
- (4) フェニレフリン……………血圧上昇
- (5) ノルアドレナリン……………血圧上昇

- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解 : e

11. 麻酔中に生じた不整脈について正しいのはどれか。

- (1) リドカインは心室性期外収縮の治療に用いる。
- (2) 心房細動の治療にランジオロールは禁忌である。
- (3) 多源性心室性期外収縮は心室細動に移行しない。
- (4) 心室細動の電氣的除細動は二相性除細動器で 360 J である。
- (5) 循環動態が安定している心房性期外収縮は経過観察でよい。

- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解 : b

12. 腎血流量について正しいのはどれか。

- (1) 尿量に影響を与える。
- (2) ドパミンは低下させる。
- (3) NSAIDs は増加させる。
- (4) フェンタニルは低下させる。
- (5) 高血圧患者では高い血圧が必要である。

- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解 : b

13. 人工鼻について正しいのはどれか。

- (1) 乳児では加温加湿器と併用する。
- (2) 人工鼻は麻酔回路の死腔になる。
- (3) 麻酔ガスによる気道の乾燥を予防する。
- (4) 細菌汚染防止フィルター付が主流である。
- (5) ラリンジアルマスクを使用する場合、人工鼻は必要ない。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：d

14. 人工呼吸について、正しいのはどれか。

- (1) PEEP は酸素化を改善する。
- (2) PEEP は循環抑制を起こさない。
- (3) 従圧式調節呼吸は換気量が一定である。
- (4) 圧補助換気は自発呼吸がない場合に用いる。
- (5) 従量式調節呼吸は一回換気量が規定される。

- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解：b

15. 小児の呼吸管理について、正しいのはどれか。

- (1) 左側への気管支挿管になりやすい。
- (2) 乳児の酸素消費量は成人の2分の1である。
- (3) 気管チューブのサイズ選択は年齢により決められる。
- (4) 乳児の体重当りの機能的残気量は成人に比べ小さい。
- (5) 小児は無呼吸により、成人と比べて低酸素になりやすい。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：e

16. 重症熱傷患者の麻酔管理について正しいのはどれか。
- (1) 受傷後早期は血管透過性が亢進する。
 - (2) ケタミンには体表面の鎮痛作用がある。
 - (3) 非脱分極性筋弛緩薬の投与は禁忌である。
 - (4) 体温が上昇しやすいので、室温を通常より低くする。
 - (5) 顔面の熱傷では、気管挿管困難を想定して準備する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：b

17. 正しい組み合わせはどれか。
- a 褐色細胞腫…………… 異常高血圧
 - b Cushing 症候群…………… 低血糖
 - c 副甲状腺機能亢進症…………… 低カリウム血症
 - d 成長ホルモン産生腫瘍…………… 乳汁分泌
 - e 原発性アルドステロン症…………… 高カルシウム血症

正解：a

18. 分離肺換気について正しいのはどれか。
- (1) 低酸素性肺血管収縮は換気側の肺に生じる。
 - (2) 右用ダブルルーメンチューブは右上葉枝を閉塞しやすい。
 - (3) ダブルルーメンチューブは気道出血の症例に適している。
 - (4) 気管支ブロッカーを用いる場合、気管支ファイバースコープは不要である。
 - (5) 気管支ブロッカーは、ダブルルーメンチューブよりも早く術側肺を脱気できる。
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解：c

19. 腹臥位による脊椎手術の麻酔管理について正しいのはどれか。

- (1) 眼球圧迫の有無を定期的に確認する。
- (2) 下大静脈の圧迫により出血量が減少する。
- (3) 静脈還流が増加するため、心拍出量は増加する。
- (4) 体位変換時には、気管チューブと麻酔回路の接続を外す。
- (5) スパイラル（らせん入り）チューブは屈曲による内腔閉塞を生じにくい。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：c

20. 全身麻酔中に発症した緊張性気胸について正しいのはどれか。

- (1) 血圧上昇
- (2) 外頸静脈の虚脱
- (3) 片側胸部の膨隆
- (4) 皮下気腫の出現
- (5) 酸素飽和度の低下

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：e

21. 手術後の異常高血圧の原因として正しいのはどれか。

- (1) 気胸
- (2) 高血糖
- (3) 創部痛
- (4) シバリング
- (5) 高二酸化炭素血症

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：e

22. 患者搬送用の小型酸素ポンベを 150 気圧で充満した際に、何リットルの酸素が使用できるか。
- a 100 l
 - b 300 l
 - c 500 l
 - d 1,500 l
 - e 3,000 l

正解：c

23. 上部消化管開腹手術について誤っているのはどれか。
- a 術後痛が強い。
 - b 低体温になりやすい。
 - c 十分な筋弛緩が必要である。
 - d 腸管膜牽引症候群では血圧が上昇する。
 - e 手術操作により血管外へ体液が漏出する。

正解：d

24. 心臓手術麻酔のモニターについて正しいのはどれか。
- (1) カプノメトリが有用である。
 - (2) 経食道心エコーが有用である。
 - (3) 心電図は3 極誘導を用いることが多い。
 - (4) 麻酔深度の評価に近赤外線モニターを用いる。
 - (5) 左室前負荷のモニターとして肺動脈カテーテルを用いる。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
 - d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：b

25. 上気道とは鼻腔から次のうちどこまでか。

- a 咽頭
- b 喉頭
- c 気管
- d 気管支
- e 肺

正解：b

26. 低酸素血症の原因として正しいのはどれか。

- (1) 拡散障害
- (2) 肺胞低換気
- (3) 換気血流比不均衡
- (4) シヤント血流の減少
- (5) 肺胞酸素分圧の上昇

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：a

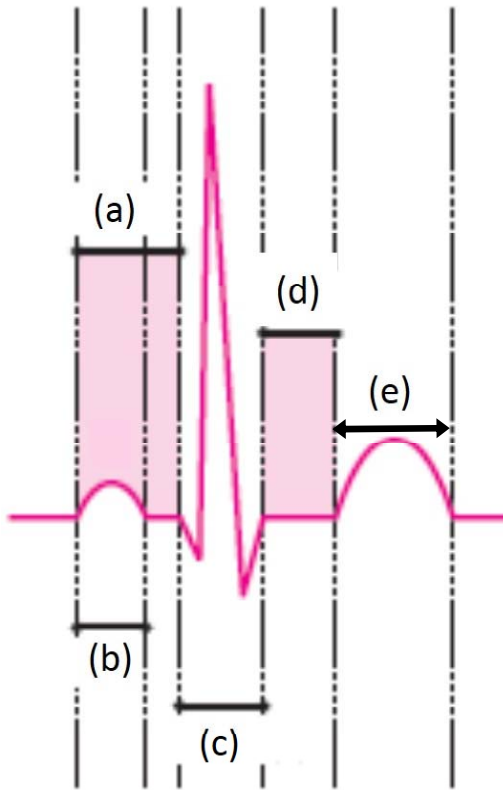
27. 低酸素血症の治療で正しいのはどれか。

- (1) 肺胞低換気では酸素投与の効果はない。
- (2) NPPV では PEEP をかけることができない。
- (3) 肺水腫に対する PEEP はシヤントを減少させる。
- (4) リザーバマスクは 6 l/分以上の流量で使用する。
- (5) ベンチュリーマスクは安定した吸入酸素濃度が得られる。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：e

28. ST 部分は図のうちのどれか。



正解 : d

29. アトロピンが有効なのはどれか。

- a 洞性徐脈
- b 心房粗動
- c 心室性期外収縮
- d III 度房室ブロック
- e Mobitz II 型房室ブロック

正解 : a

30. 重症出血性ショックの所見として正しいのはどれか。

- (1) 徐脈
- (2) 脈圧上昇
- (3) 尿量減少
- (4) 不安・錯乱
- (5) 毛細血管再充満時間の短縮

- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解：d

31. 下記の条件でショックインデックス (SI) を計算しなさい。

心拍数 120/分, 血圧 80/40 mmHg, 呼吸回数 25 回/分, SpO₂ 98%, 体温 36.0°C

- a 0.5
- b 1.0
- c 1.5
- d 2.0
- e 2.5

正解：c

32. 回復室から病棟への帰室を許可するのに不適切なのはどれか。

- a シバリング
- b GCS E4V5M6
- c 心拍数 90 bpm
- d 呼吸数 20 回/分
- e SpO₂ 97% 酸素投与フェイスマスク 5 l/分

正解：a

33. 限局した鋭い痛みを呈するのはどれか。

- a 心因性
- b 内臓痛
- c 体性痛（深部痛）
- d 体性痛（表面痛）
- e 神経障害性疼痛

正解：d

34. NSAIDs を投与するのが好ましくない所見はどれか。

- (1) 体温 39℃
- (2) 上部消化管出血
- (3) クレアチニン 3.0 mg/dl
- (4) フェンタニル持続投与中の患者
- (5) トロピカルフルーツへのアレルギー

- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
- d (3), (4) e (4), (5)

正解：c

35. 疼痛について誤っているのはどれか。

- a 多臓器に悪影響を及ぼす。
- b 神経障害性疼痛は痛覚過敏の原因となる。
- c 慢性化した痛みには、NSAIDs が著効する。
- d 疼痛の個人差の要因として遺伝子多型性がある。
- e 持続する疼痛は交感神経刺激による痛みの悪循環の原因となる。

正解：c

36. 静脈内に投与するのが不適切な薬剤はどれか。

- a ペチジン
- b リドカイン
- c フェンタニル
- d ロピバカイン
- e レミフェンタニル

正解：d

37. 術後せん妄のリスク因子はどれか。

- (1) 若年者
- (2) 集中治療
- (3) 心臓手術
- (4) 股関節手術
- (5) 家族との面会

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：d

38. 急性腎障害の臨床診断基準の指標として正しいのはどれか。

- (1) 尿量
- (2) 尿中カリウム値
- (3) 血中カリウム値
- (4) 尿中尿素窒素値
- (5) 血清クレアチニン値

a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解：b

39. 横紋筋融解症について正しいのはどれか。

- (1) 尿の pH が上昇する。
- (2) 尿細管が障害される。
- (3) 致死性不整脈の原因となる。
- (4) 代謝性アルカローシスとなる。
- (5) 心筋の壊死による障害である。

a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解：c

40. シバリングに有効な薬剤はどれか。
- (1) ペチジン
 - (2) ナロキソン
 - (3) エフェドリン
 - (4) デキサメタゾン
 - (5) 硫酸マグネシウム
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解：b

41. 看護師が手術前オリエンテーションで行わない説明はどれか。
- a 術式について
 - b 手術前の身体的準備
 - c 手術までのスケジュール
 - d 手術後の疼痛コントロール
 - e 手術の際に患者が持参する物品

正解：a

42. 手術前に不要な患者指導はどれか。
- a 禁煙指導
 - b 退院指導
 - c 栄養指導
 - d 節酒・禁酒指導
 - e 術後に使用する PCA ポンプの指導

正解：b

43. 手術翌日からの看護で適切でないのはどれか。
- a 疼痛管理
 - b 創部の観察
 - c 合併症予防
 - d 絶対安静の指導
 - e ボディイメージの変容への援助

正解：d

44. 手術室の環境を整える支援で適切なのはどれか。
- (1) 不要な機器類を手術室から搬出した。
 - (2) 患者の緊張を緩和する声掛けを行った。
 - (3) 入室時に適温となるように室温調整を行った。
 - (4) 手術室内に患者の好みの音楽を大きな音で流した。
 - (5) 麻酔器点検は、麻酔科医に任せているので触らない。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：a

45. 器械出し看護で適切でないのはどれか。
- a 手術開始前に、鋭利な刃物は形状を確認する。
 - b 滅菌された器材は、滅菌状態を確認した後に取り出す。
 - c 閉創前には、医師に声を掛けてガーゼ枚数の確認を行う。
 - d 鋭利な器械は、術者に渡す際には、眼を離さないようにする。
 - e 緊急手術ではパックから取り出したガーゼ類は数えずに使用する。

正解：e

46. 手術体位の支援について不適切なのはどれか。
- a 末梢神経障害を防ぐために関節は伸展させる。
 - b 体位固定後、褥瘡予防のための置きなおしを行う。
 - c 長時間の圧迫時には、定期的に圧迫部位の観察を行う。
 - d 皮膚の乾燥や必要以上の湿潤は、褥瘡発生因子となる。
 - e 側臥位の手術では、眼球への圧迫がないことを確認する。

正解：a

47. 手指衛生のタイミングについて適切でないのはどれか。
- a 患者に触れる前
 - b 患者に触れた後
 - c ベット柵をつかむ前
 - d 患者分泌物の吸引後
 - e 静脈カテーテル挿入前

正解：c

48. 大腸がん開腹手術後の手術部位感染症 (surgical site infection : SSI) はどれか。
- a 肺炎
 - b 腎盂腎炎
 - c 創部皮下膿瘍
 - d 動脈ライン感染
 - e 人工関節部位感染

正解 : c

49. 輸血について誤っているのはどれか。
- a 赤血球液は 2~6℃で保管する。
 - b 濃厚血小板は水平振とうしておく。
 - c 悪性腫瘍手術に回収式を使用しない。
 - d 新鮮凍結血漿は- 20℃以下で保管する。
 - e 自己血の準備方法は貯血式, 回収式の 2 種類である。

正解 : e

50. スタンダードプリコーションにおける対象はどれか。
- (1) 汗
 - (2) 皮膚
 - (3) 血液
 - (4) 粘膜
 - (5) 唾液
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解 : e

51. 関節の良肢位と可動域について正しいのはどれか。

- (1) 肩関節：外転 0° ～ 30°
- (2) 肘関節：屈曲 0°
- (3) 膝関節：屈曲 0°
- (4) 股関節：屈曲 15° ～ 30°
- (5) 足関節：底屈 0° ～ 10°

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

正解：c

52. 体温管理について不適切なのはどれか。

- a 患者入室前から手術室内を温めておく。
- b 周術期中枢温のモニターは皮膚温を測定する。
- c 手術中は温風加温装置を用いて体温維持に努める。
- d 周術期の $1\sim 2^{\circ}\text{C}$ の体温低下は、創部感染のリスクを高める。
- e 輸液を加温しても投与速度が遅いと体温上昇の効果が小さい。

正解：b

53. エフェドリン塩酸塩 (40 mg/1 ml/A) について誤っているのはどれか。

- a 徐脈になる。
- b 昇圧薬である。
- c 投与後に血圧を測定する。
- d 繰り返し投与で効果が減弱する。
- e 10 倍に希釈して使用する際、1 ml は 4 mg である。

正解：a

54. ナロキソンで拮抗できるのはどれか。
- (1) モルヒネ
 - (2) ケタミン
 - (3) ミダゾラム
 - (4) ペンタジン
 - (5) フェンタニル
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

正解：b

55. 静脈血栓塞栓症（VTE）の危険因子でないのはどれか。
- a 低血圧
 - b 悪性疾患
 - c 下肢麻痺
 - d 長期臥床
 - e 静脈血栓塞栓症の既往

正解：a

56. 末梢神経障害の危険因子でないのはどれか。
- a 喫煙
 - b 高血圧
 - c 栄養不良
 - d 長時間手術
 - e 糖尿病の合併

正解：b

57. ラテックスアレルギーについて誤っているのはどれか。
- a 遅延型アレルギー反応である。
 - b 医療従事者は高リスクグループである。
 - c 天然ゴム製品に接触することで起きる。
 - d アボカドにアレルギーのある患者は高リスク群である。
 - e ラテックスアレルギーの患者の手術はその日の最初に予定する。

正解：a

58. 気管チューブの抜管後のチェック項目として適切でないのはどれか。
- a 悪心
 - b 尿閉
 - c 嘔吐
 - d 舌根沈下
 - e チアノーゼ

正解：b

59. 手術前の看護の関わりについて適切でないのはどれか。
- a 患者の意思決定の支援を行う。
 - b 術後の肺合併症予防を指導する。
 - c 入院直後より退院支援に着手する。
 - d 手術部位の剃毛・除毛を前日に行う。
 - e 術前の看護の関わりは手術決定から始まる。

正解：d

60. 気管チューブの抜管基準で正しいのはどれか。
- (1) 従命反応がある。
 - (2) 自発呼吸がある。
 - (3) TOF 比 0.8 以下である。
 - (4) 気管吸引でバックキングがない。
 - (5) 頭部を挙上し保持が 5 秒間できる。
- a (1), (2), (3) (1), (2), (5) (1), (4), (5)
- d (2), (3), (4) (3), (4), (5)

正解：b